# 新年のごあいさつ

平成20年

## 国は真に地方の実情に適した政策の実現を

香美市長
**門脇　槇夫**

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には輝かしい新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。また旧年中は何かとご指導、ご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、夏の参議院選挙での与党惨敗の結果、政局は不安定となり、安倍首相の突然の辞任により福田内閣が誕生し、その後も国会のねじれ現象の中で厳しい国会運営が続いています。特に与党敗北の原因には、都市と地方の格差問題をはじめとした地方の疲弊に対する不満が結果として表れたものであり、今ようやく政府において地方に対するさまざまな政策の見直しが検討されていますが、真に地方の実情に適した政策が実現されることを強く望むものであります。

私も「地方の発展なくして、国の繁栄、発展はありえない」との信念の下に、今年も香美市発展への努力を重ねてゆく決意を新たにいたしております。そして「清潔で公平」な行政姿勢を貫いてまいりますので、今後ともご指導をお願いいたします。

末筆になりましたが市民の皆様方のこの一年のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

## 調和のとれた市民参加のまちづくりを

香美市議会議長
**中澤　愛水**

平成二十年の年頭にあたり、市議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方には、ご健勝で輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は地域間格差・生活格差の拡大が問題となり、地方の再生が強く求められてきました。また、県では全国最年少の知事が誕生し、新しい県政の舵取りが進められようとしています。

合併後三年目を迎える本市も、行財政改革や定住人口の増加等、市政発展の基礎固めに引き続き努力を傾注し、調和のとれた市民参加のまちづくりと、四月からの後期高齢者医療制度への備えも重要です。そのためにも行政情報の公開と共有、民主的で公正、自治と参加と心の通う行政推進を強く進めて行くことが不可欠です。地域間の融和を図りつつ、長年培ってきた伝統と文化と歴史の上に立ち、工科大学、テクノパークと香美市の持つ資源と可能性を有機的に活用し、ゆるぎない香美市の建設と発展をはかって行かなければなりません。市民参加による新しいまちづくりを進めるためにも、さらなるご指導とご協力をお願いいたします。

市民の皆様方のこの一年のご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。